

ベイタウン夏の新しい風物詩 流しそうめん

7月9日(日)の朝10:30。ベイタウン・コア中庭ではなんとも楽しそうなイベントが行われていました。「流しそうめん」。竹でつくった樋(とい)にそうめんが流れてきて、おはしで取って食べるあの流しそうめんです。おなかもふくれるし、和風の文化も楽しめるし、なにより楽しい催しに子ども達は大喜びです。こんな楽しいイベント、一体誰がやっているのでしょうか。早速取材して来ました。【松村守康】



実はベイタウンでの流しそうめんは今回で3回目になります。4年前に初めて行われましたが、場所はセントラルパーク敷地内で行われたので最初は小さなイベントでした。でもこれが口コミで拡がり、2回目は一昨年コア中庭で行われました。昨年も3回目がコア中庭で企画されましたが、残念ながら雨で中止。今回が3回目です。

企画したのは山口和代さん(グランアクシブ在住)。4人の子育て真っ最中のお母さんです。忙しい子育ての中にも子ども達に楽しいイベントをという山口さんの思いに、社会福祉協議会の打瀬地区部会が協力する形でベイタウンのメジャーイベントになりました。と言っても団体ベースで話が進んだのではなく、彼女の熱意に賛同する形で竹を割って準備をしたりする仕事を周りの人がお手伝いし、その方々が地区部会のメンバーだったというのが実際のもので、まさに草の根パワーで実現したイベントです。

この企画には更に沢山の方が協力に集まりました。受付や案内は美浜打瀬小の子ども達とそのお母さん達が協力していました。そして会場横の打瀬子どもルームも加わりと多くの人に支えられるイベ

ントになったのです。

流しそうめんは太い竹を半分に割って、節を取った樋(とい)が使われます。でもこんな太い竹はベイタウンでは見つかりません。竹は一体どこから来たのでしょうか。実はベイタウンの周辺にも1カ所だけ立派な竹がたくさん生える竹林があります。そうです。「見浜園」です。樋をつくる竹は見浜園からいただきました。

竹の節をとり、そうめんが流れる樋をつくったのは10番街の小畑さんを中心とするシニアの方達。小畑さんはもちつき大会でももちつき名人として知られています。昔、子どもの頃に覚えた技が年をとってこの近代都市のベイタウンで役に立っているようです。

当日はこの竹を組み合わせて、20mほどのそうめんが流れる樋をつくります。片方の端を人の背丈よりも少し低いくらいに持ち上げて角度をつけて、高い方から公民館の調理室でゆであがったそうめんを流していきます。

樋がひとつだけで沢山の子ども達が1度に集まったので下流にいる小さな子ども達にはなかなかそうめんが流れてこないという風景も見られましたが、それでもそうめんをゲットしたときの喜びは格別。大騒ぎでそうめんを取り合って歓声をあげていました。

流しそうめんはこの後、時間を空けて合計3ステージで行われ、合間にはかき氷やドッジボールなどのイベントも行われました。

流しそうめんに集まったのは小学生を中心に約200人。中には入園前の小さい子をベビーカーに乗せて参加した若いご夫婦も何組も見かけました。

山口さんの小さなチャレンジにたくさんの、それも幅広い年代の人たちが集まり協力し合ってきた「流しそうめん」。ベイタウン初夏の風物詩がひとつ増えました。



【写真左上】受付をしていたのは美浜打瀬小の4年生たち。【写真右上】ボランティアのお母さんたち。【写真中】流しそうめんの全体。【写真下左】最上流部から。【写真下右】最下流部の小さな子ども達には最初はあまり流れてこなかった。

子ども記者が伝える

今僕の学校では…

打瀬小学校 6 年

No.15

打瀬小学校編



く昼間にも明るいあいさつが学校中にひびいていました。この声を聞き自分たちの努力が実ったことを実感しました。計画委員会は今後もこのような学校のためになる活動をどんどん行っていく予定です。特に私はこれからもこのきれいな学校や元気なあいさつを続けるために精一杯がんばっていききたいと思います。みなさんの力も必要になりますのでご協力のほどお願いします。

【篠原 美空】

【夏休みラジオ体操】

僕は小さい頃から夏休みは、毎日、ラジオ体操に参加していました。その時、みんなの前に立ち、元気よく丁寧に体操する6年生にあこがれていました。行き始めたころは、家を出るのも遅く、体操が終わるぎりぎりの時間に学校に着いたこともありましたが、ラジオ体操後のスタンプをもらうのが楽しみで、どんどん早い時間に行くようになりました。すると、ラジオ体操リーダーが朝早くから練習していることがわかり驚きました。僕はラジオ体操リーダーとして、責任をもってラジオ体操に参加したいです。そして、参加してくれた人達に元気に楽しく体操をしてもらえるようがんばりたいです。そのためには毎日、朝のラジオ体操の放送を見たり、土曜日のリーダー会に参加したりして、しっかりと練習したいです。小さい子からお年寄りまで、わかりやすく体操ができるように正確できれいな体操を覚えたいです。また、ラジオ体操後のクリーン作戦にも参加したいです。小学校生活最後の夏休みのよい思い出を作りたいです。【佐藤 航喜】

一人ひとりのがんばり

「一人ひとりのがんばりをみんなのために」をテーマに打瀬小学校計画委員会を中心に様々な活動に取り組んでいます。今回は、「あいさつ運動・募金活動」「デモクリーン作戦」「夏休みにがんばること」の三つのことについて紹介します。

【あいさつ運動と募金活動】

私たち計画委員会は様々な活動を行っています。あいさつ運動では、10分間でどれくらいの人が自分からあいさつをしてくれたかを調べました。計画委員はポスターを作り、各クラスに配布しながら呼びかけました。私は相手を元気にさせられるように明るくはっきりとしたあいさつをしました。募金活動では、4日間行いました。多くの人に募金に参加してくれるよう毎日、放送でお知らせをしました。集まったお金は全部で5892円でした。ご協力ありがとうございました。この募金は地域のお年寄



りや体の不自由な方や子どもたちの活動に役立てられます。今後もよろしくお願いたします。私は今後、もっと多くの人にあいさつ運動や募金に協力してもらえようがんばっていきます。【京藤 万友佳】

【デモクリーン作戦】

私たち、打瀬小の計画委員はあいさつ運動を実施しながら、デモクリーン作戦を行いました。デモクリーン作戦とは、夏休みのクリーン作戦の前に計画委員だけで行う活動です。私は、初日にこの活動を行った後には、学校が見違えるほどきれいになったと感じました。それと同時に朝だけでな



公民館講座「ベイトウンまち歩き」に参加してみた

こんな講座があるから出てみたら、と友人から誘われ半ば付き合いで参加してみました。7月16日(日)に公民館で行われた「街歩き」の講座です。この講座はシリーズで今回が3回目の講座です。ベイトウン協議会の「景観委員会」が主催するもので、ベイトウンの良いところ、悪いところを実際に歩いてみて話し合い、将来の街作りに活かしていこうという講座です。

街歩きは中高年世代には今トレンドリーな「趣味」です。TVでも著名人が街を歩き、その街の歴史や地理を調べたり、お店を訪ねておいしいものを食べたりと、単なる散歩だけでなく知的好奇心や食欲まで満たし



てくれます。

一方こちらの「ベイトウンまち歩き」は、街歩き後にさらに将来の街作りを考えるとというアウトドアにさらにワークショップを加えたメニューです。

講座に参加した人は約30人。ほとんどが中高年で過去2回からのリピーターという方が多いのかなという感じでした。

内容は4グループに分けて40分ほど街を歩き(探索し)、帰ってきて各グループで意見を出し合い、Post Itに書いて模造紙に貼りだし、新聞の見出し風にまとめて発表するというワークショップを行うものでした。約2kmのコースですが、歩いてみると日頃気付かなかったような「良いところ」「悪いところ」が見えてきます。

記者はコアを出て、1丁目公園、7番街中庭、打瀬小、リンコス前を通ってセントラルパークのけやき並木、2丁目公園、美浜打瀬小前、12番街中庭を見てコアに帰るというコースに参加しました。普段歩いている道ばかりですが、何人かで歩くと同じ景色がいろいろちがって見えます。他人と一緒に歩いてみることで今まで見過ごして

いたことにも気付きます。

コアに戻ってからのワークショップでは街の良かったところ、悪かったところに分けて多くの発見が出されました。意外だったのは「良かったところ」が多く指摘されたこと。住民は現在の景観を概ね好意的に見ているようです。特に多かったのが街開き当時は小さかった木が育って大きくなり、街に緑が増えたことを評価する意見です。これは20年経ってはじめて見えてきた街の景色でした。

ワークショップでは最後に各グループが結果を「新聞見出し風」にまとめました。全員から評価されたタイトルは「ベイトウンは宝の持ち腐れ」。これは良いところがたくさんあるのに我々がそれに気付かず、やがて劣化してしまうことを危惧した警鐘です。改めて街を考えさせられる良い機会になりました。【松村】



ベイトウンで国際交流の輪を広げよう

皆さんは国際交流と聞くと何を思い浮かべるでしょうか。実はベイトウンにも外国人と地域住民がお互いに助け合う国際交流の場があります。取材のため覗いてみるとそこにはアットホームな雰囲気とたくさんの楽しい出会いがありました。【土井可南子】

7月9日（土）、猛暑の中でも海浜打瀬小の教室からは楽しそうな話声が聞こえてきました。毎週土曜日ここで行われているNPO法人幕張エクスパット＆ジャパニーズコネクション（通称MEJC）による活動です。10時から11時まで外国人に英語を教えてもらい、11時から12時半までは逆に日本人が一对一で日本語を教えます。記者が訪ねると早速会話の輪の中に入れてもらい、英語で自己紹介をすることに。思わず暑さとは関係のない汗が流れてしまいました。代表はベイトウン在住の笑顔が素敵な荻野さんです。実は荻野さん自身韓国出身で、日本語教室に通っていました。その時の経験から、自分が一番理想とする一对一で教えるという日本語教室の形を目指すことにしたのだそうです。「自分は体験できなかったからこそベイトウンという素敵な場所で始めよう」という思いでこの活動をスタートさせ、今ではアメリカ、イギリス、オーストラリア、イタリア、インドというたくさんの国と地域の人々との交流が生まれました。また季節ごとにお花見などのイベントもたくさん企画されており、7月下旬には浴衣の着付けのイベントも行われるのだと

か。そのほかにも日本語が全く分からない外国人のために一緒に病院に付き添うなど外国人のSOSの場としても活躍しています。もちろんスタッフも全員ボランティアです。ボランティアスタッフの井上さん、瀧さん共々ベイトウン在住でこの活動を支えています。井上さんはシンガポール生活をしていたときに現地のボランティアに助けられたといいます。「海外で感じたありがたみを日本で恩返ししたかった。なによりボランティア活動で出会う人はみんな素敵な人なんです」とやり甲斐を話してくれました。授業自体も堅苦しい雰囲気ではなく、笑い声溢れるアットホームな雰囲気でした。荻野さんの「MEJC



は私たちが私たちに楽しく活動できる場です」という姿勢がまさにこのあたたかい雰囲気を作っているのだと感じました。

MEJCでは現在ボランティアの募集をしています。実際に外国の人たちと英語で話す日本にいたとなかなかない機会ですし、とてもいい勉強になると思います。「日本語を教えられるか不安でも熱意さえあれば大丈夫！」だそうです。またボランティアに興味があってもなかなか踏み出す勇気がない人もたくさんいると思います。もちろん私もその一人です。学生さん大歓迎だそうですから夏休みを利用してぜひ一度足を運んでみてほしいです。

今年も元気にラジオ体操

今年も7月17日（土）の打瀬小学校校庭を皮切りに「ベイトウン夏休みラジオ体操」が始まりました。これから前半2週間、後半1週間の合計3週間、3つの小学校を1週間交代で巡回してラジオ体操が行われます。

今年のラジオ体操では例年とは違ったハプニングがありました。それは初日の参加者がとても少なかったこと。例年ラジオ体操は後半よりも前半に参加者が多く集まる傾向があり、特に初日から数日が他の日より多くなります。ところが普段なら6:00過ぎには子ども達が集まってくるのに、今

年は会場となった打瀬小学校の校庭に人影は少なく、例年のような子ども達のはしゃぐ声が聞こえませんでした。

理由はラジオ体操カードでした。ベイトウンのラジオ体操でも郵便局が作った全国共通のラジオ体操カード（子ども達がスタンプを押してもらうあのカードです）を使っていますが、そのカードのラジオ体操の日程が7月19日を初日として始まっています。つまりベイトウンの体操会の最初の2日間はスタンプを押してもらう日にちの入った枠がなかったのです。

カードに日付がなかったのは、NHKの夏休み巡回ラジオ体操の始まりが7月19日だったからで、これは全国的に夏休みの開始日がこの日だったため。つまり千葉市は全国の中でも夏休みの始まりがとびきり早かったのです。カードをみて子ども達はラジオ体操は19日からと勘違いし、出てこなかったようです。さらに初日の17日は海の日で3連休の3日目、このことも出足を悪くしました。

しかし出足が悪く、校庭が静かだったのは最初の2日間だけ。カードに日付の入った19日からはいつものように子ども達が集まり、2日目の7月20日には1,000人を越す人の参加がありました。数年前までは1,000人を越す日が一夏に何日もあったのですが、小学校の児童数が減った最近ではこれは驚きの数字です。最近では就学前から夏休みラジオ体操に毎日参加し、6年生になったらリーダーになることを夢みる4、5年生を何人も見かけるようになりました。ラジオ体操会場で真面目な顔をして目立ってきれいな動きをする子どもを見かけたら、その子は将来のリーダー候補です。「上手だね」と声をかけてあげてください。

今年のラジオ体操後半の予定は8月21日（月）～8月27日（日）7日間 美浜打瀬小学校 校庭 猛暑と言われる今年の夏ですが、早朝のラジオ体操で生活のリズムを作り、夏を乗り切りましょう。



コア・フェスタ Core Festa はじける楽しさ

2017年

11/4(土) 5(日)

打瀬公民館
全館と中庭
で開催

食べる

コーヒー・コーナー、カレー、
ヤキソバ、キャンディアー
ト、ミニフードコート…



出店・企画募集中

中庭でのイベントおよび模擬店を
募集しています。営業出店可。
フード系の模擬店には調理室が
使えます。

コアを救え！ 募金箱設置します
ベイトウン・コアをみんなの募金で守ろう。

主催：打瀬公民館／サークル連絡協議会
TEL：043-296-5100

見る

ステージと展示



フェアリーズ、打瀬中吹奏楽部、ベイトウン
オーケストラ、ウクレレサークル、ギターソロ、
水彩画、写真展、アルバム、絵手紙…

遊ぶ



目指せチャンピオン 子ども将棋大会、
可愛くフェイスペイント、ふれあいフリーマー
ケット、お茶席…

8月のコア・イベント

わくわくおはなし会 サマースペシャル「いのちをみつめて」

8月は、わくわくおはなし会 サマースペシャル「いのちをみつめて」を開
催します。2017年夏「いのち」をテーマに絵本をよんでみようと思いました。
日時：8月26日 土曜日
時間：午前10:30～11:45
場所：ベイトウン・コア講習室
対象：小学生以上
入場無料
ブログ更新中・見てね** <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>
お問合せ先：chibawaku2@freeml.com

8月26日(土) 寺子屋工作ランド

「ぶんぶんごま」
日時：8月26日 第4土曜日 午前9:30～11:30
場所：ベイトウン・コア工芸室
ぶんぶんごまにいろをつけて回してみよう。
どんないろになるだろう。
持ってくるもの：はさみ、えんぴつ、クレヨン、いろがみ、サイン
ペンなど

第163回ファッティオリの会

日時：8月27日(日) 午前9:30～11:30
場所：ベイトウン・コア音楽ホール
フルコンサートピアノ「ファッティオリ」の演奏や他の楽器の演奏、
声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用を
希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていた
だきます。聴きに来て頂くのは、自由です。
最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。
締切：8月20日(日)
申込先：TEL/FAX：043-211-0675(小野寺)

東京湾で赤潮発生

7月の第2週頃になりベイトウンでは潮の臭いを強く感じるよう
になりました。TVでは東京湾全域で赤潮が発生しているとのこと。
一時は少し臭いも収まったような気がしたのですが、風が強くなる
とまた潮の臭いが流れてきます。海の色はほんとに赤くなっている
のかと、7月12日の午後から自
転車を漕いで幕張の浜に行ってみ
ました。海に近くなるにつれて臭
いが強くなり、浜に出て撮った写
真がこれ。確かに潮が赤くなって
います。暑い日がつづくとしばら
くこんな状態なのでしょうね。



「きもの&マナー教室」夏まつりで浴衣デビュー

日時：8月21日(月) 13:00～15:00
場所：打瀬公民館 和室
対象：小学1年生～6年生と保護者(子どものみの参加も可)
定員：12組(先着)
参加費：無料
持ち物：浴衣一式、足袋または白い靴下
主な内容
浴衣を自分で着て、帯結びもマスターします。
和室でのマナーや所作を学びます。
協力：幕張ベイトウン伝統文化和装礼法伝承の会
申し込み：8月1日(火) 9:00～
直接窓口、または電話で受け付けます。
電話：043-296-5100